

浅原小学校の教職員は
 ■ 地域に信頼される教職員です。(信頼)
 ■ 児童の幸せづくりに精進します。(自覚と責任)
 ■ 不祥事を起こしません。
 (飲酒運転・体罰・セクハラ・情報漏洩)

不祥事根絶のための行動計画

廿日市市立浅原小学校

作成責任者 校長 新見 忠昭

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス研修において、一年に一人一回以上主管し、研修のリーダーとしていますが、年間計画が積み上げられているとはいえない。 ○日々の研修において、通知等の伝達場が確保しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス研修の計画を見直し、より体験的な研修を実施して内容の充実を図り、研修効果が実感できるようにする。 ○日々の研修において、通知等の伝達場を確保しやすいよう暮会等を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての教職員を対象にサービス研修に係るアンケート調査を行い、方法や内容等を改善する。 ○サービス研修に係る年間計画を積み上げて実施する。 ○暮会を有効に活用する。内容の見直しと充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期に1回、サービス研修についてのアンケート調査を行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員個人の技量に依存しがちである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、信頼関係を構築していく。組織で協働して気持ちよく仕事を進めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教頭・主任・主事を中心に互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○暮会時等、全員で話し合う場で学級の様子や学校全体の取組について情報交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○月に1回、企画委員会で情報交換を行い、状況を把握する。 ○暮会時に、児童についての様子等の情報交流をする。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知はしているが、限定した内容でなければ相談できないと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談日」を第3火曜日とし、学校だよりで周知を繰り返し行い、教育相談全般について話しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりで保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○学校懇談会において、相談窓口の案内プリントを配付するとともに、保護者(PTA役員等)から体罰、セクハラについて聴取する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期末に児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 ○学期末懇談会における保護者からの聴取記録を作成する。